

【Iコリント人への手紙4章】

「管理者には忠実であることが要求されています。」

Iコリント4:2



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大衛

SHILOAM

【シロアム:遣わされた者】

2012.1.15 No.666

今年のみ言葉 歴代誌II 20:22

**我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。**

なぜなら、神によって生まれた者はみな、世に勝つからです。
私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。

Iヨハネ5:4



14年前の1998年作成

弟子たちは喜びと聖霊に満たされていた。使徒13:52

主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccfrh/>

「忠実」であるようにパウロは語っています。これはどんな場合でもあてはまることばでしょう。キリストのしもべであり、神の奥義の管理者には、特に「忠実であること」が要求されます。

マタイ25章を見ますと、ご主人がしもべを呼んで、それぞれ5タラント、2タラント、1タラント預けて旅にでます。5タラント預かった人は、すぐに行って、それで商売して更に5タラント儲けています。2タラント預かった人も同じようにしました。この二人は「良い忠実なしもべだ。」とほめられています。しかし1タラント預かった人は「悪い怠け者のしもべだ。」と叱られています。前の二人は自分にそれらを預けたご主人の心を知り、それを増やすことを選び、その為に働きましたが、1タラント預かった人は、預かったお金を使ったわけでもなく、そっくりそのまま地の中に隠して、それを返していますが、それはご主人の心を全く理解しない怠惰なことでした。

私達にも同じようにみ言葉が語られ、ご主人なるイエス様が信仰、愛、実際の賜物、霊的賜物など与えておられます。それを使って増やして救いの為に、福音の為に用いるか否かは私たち自身にかかっています。

宣教の働き第2章になって、マレーシア・ザンビア・ヨーロッパ・カンボジア・フィリピン・ミャンマーと、どんどん道が開かれています。また賛美隊としての働き、インターネットの働きと次々にみわざが起こってきています。自分に与えられている賜物を如何に生かして用いるか、或いは、訓練を受け、スネルゴイキャンプなどに参加することも大事です。そして与えられているものを生かし増やし、福音の為に、主の為に、祈り捧げ行動を起こすのは各人の信仰にかかっているのです。キリストのみ体の一肢体として、何ができるでしょうか。神様はあなたに何を望んでおられるでしょうか？

パウロは福音のために飢え、渇き、、、と書かれていますが、本当に苦勞しています。しかし彼はこの世の評価の為ではなく、主のみ前にどう裁かれ、評価されるかその一点だけを見続けて歩んでいるし、それを見習って欲しいと勧めています。「テモテは主にあつて私の愛する、忠実な子です。彼は、私が至る所のすべての教会で教えているとおりに、キリスト・イエスにある私の生き方を、あなたがたに思い起こさせてくれるでしょう。」と記してあり、パウロがどんな心で伝道者として歩むべきか、人に対してではなく、権威者である主に対して忠実であるようにと、とくとくと語っています。

ナルドの香油をイエス様に注いだマリアは「自分にできることをしたのです。」(マルコ14:8) と、イエス様に喜ばれています。召された者、選ばれた者、忠実な者として、更にふさわしい歩みをしてゆきましょう！

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。

教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。